



No.29 2010.6.23 発行
群馬県立高崎高等学校 翠巒体育会報
<http://www5.wind.ne.jp/t2suiran/>



翠巒クラブ 硬式野球部OB会

赤澤 正喜 (84期)

平成21年の夏の甲子園大会が始まる、そんな時期のことである。後に翠巒クラブのメンバーとなる我々野球部OB等は、母校の野球部グラウンドにいた。季節は、まさに夏の真っただ中という時期である。なぜ、そんな時期にグラウンドにいたのかというと、対前高野球部とのOB戦が行われていたからである。結果は、我が高野球部の勝利で終わった。

その試合後、打ち上げが行われたわけだが、久しぶりの勝利で、皆、大いに盛り上がっていた。そんな宴会も終盤に差し掛かったとき、75期の清水正郎先輩から、「赤澤、ちょっと来い！」と声がかかった。行ってみると、清水先輩からこう言われた。「OBだけで、壮年のチームを作らないか？」

壮年のチームとは、年齢が40歳以上の人だけで構成するチームのことである。確かに私も、OBだけで、チームを組みたいとは常々思っていた。しかし、そんな簡単にできるとも思えなかった。経験上、1チーム作る時、人数は、最低でも20人以上は、確保しないとイケない。その位いなければ、いくら休日とはいえ、ゲームの日に10人揃えるのは至難の業なのである。まして、40歳以上という限定された条件の中で、探すということになると、尚一層困難なように思えた。しかし、清水先輩は、大した期間もなく難なく20人近くの人を集めてしまったのである。これには、驚くばかりであった。これで、人

特集

翠巒クラブ

翠巒を冠して躍動する ● 硬式野球部 ● バレーボール部 ● サッカー部 OB会

数確保という、一番やっかいで重要な問題点は簡単にクリアされてしまったのである。

こうなると、話もとんとん拍子で進み、年が明けての1月には、顔合せを兼ねた飲み会が開かれることとなった。その決起集会とも呼べる飲み会に、クラブのほとんどの人が出席してくれた。正直、これほどの人が集まるとは思ってなかった。それだけ、ここに集まった人達は、私のように、こんなクラブができればいいと、ずっと心待ちしてきたのではないかと思えた。なにか、とても嬉しかった。タイミングよく、その宴会の前日に、前もって頼んであったユニホームが完成していたので、その日は、これから、我々が着るユニホームのお披露目会ともなった。さすが、野球人である。ユニホームを見た瞬間に、みんなのやる気みたいなのも伝わってきた。もうその時は、チームを作るとき、心配事など、どこかへ吹っ飛んでしまっていた。残っているのは、このクラブでやるのだという強い気持ちしかなかった。

3月に入り、大会が始まる前に、練習をすることとなり、母校のグラウンドに集まった。この時期に、グラウンドを確保するのは、どのチームも大変というときに、母校のきれいに整備されたグラウンドで練習できるのは、幸せなことであった。練習の内容は、フリーバッティングや、シートノックなどの基礎的なものであった。現役時代のことを思えば、遊びみたいなものであるが、40歳を越えた我々にとっては、かなりハードなものとなった。しかし、誰ひとり大きな怪我もせず、皆、元気よく練習をこなした。私自身、次の日に、ひどい

筋肉痛になり、立っているのもやっとながらあったが、先輩や後輩達と一緒に練習できたのは、非常に楽しかった。この練習を経て、気付いたことだが、何年もブランクがあるわりには、皆、結構うまくこなしているのには驚いた。私自身は、ずっとプレーしてきていたのだが、その私と同等、いやそれ以上であった。休みなく続けてきた自分自身のプレーぶりには、がっかりしたが、これから一緒にやっていく仲間には、頼もしさを強く感じた。

こうして、翠巒クラブ(野球部)は誕生し、今年、1年目のスタートを切ることとなった。春に行われる公式戦も始まり、めでたく、高崎市の予選をベスト4まで進出することができた。当面の目標は、高崎市の予選をベスト4まで勝ち上がり、県大会に出場することであったのだが、その目標は、この予選で早くも達成してしまった。まったく大した仲間たちである。なので、これからは、さらに大きな目標に向かって活動していきたいと思う。

当初、私が心配していた、ゲームのある日に、人数が揃えられるのかということも、杞憂に終わった。毎回、出席率がすごくいいのである。よほど、このクラブで活動するのが楽しいらしい。もちろん私自身もそう考える一人である。こういったクラブでは、1人1人のやる気というのが一番大事だと、私自身思っている。この出席率をみただけでも、このクラブでの活動の充実ぶりがうかがえるのである。

このクラブは、今のところ、75期の清水正郎先輩を筆頭に、一番下の世代が87期という構成になっている。野球をすること自体、もちろん楽しいのであるが、



試合前後の時間や、宴会のときなど、各世代の先輩達や後輩等の現役時代の話を聞いたりするもの、これもまた、このクラブならではの、すごく楽しい。これからは、そんな話に、このクラブでの活動の話をどんどん追加できたらいいと思っている。

なかば勢いだけで、ここまで来た感はあるが、チームができるというのは、こんな感じなのかもしれない。私自身や先輩達の念願かなって、OBだけのクラブができたのであるから、勢いだけで終わりにしないで、今後、末永く存続させていきたいと、強く思っている。



78期の菊地俊哉です。前半の第1期黎明期は私が記載させていただきます。

バレーボール部OBによる翠巒クラブは、社会人クラブチームとして昭和60年、75期～81期のOB中心で発足いたしました。発足にあたっては、サッカー部OBによる翠巒クラブをお手本とし、我々バレー部もOBによるチームを作りたいという思いが自然に結集したという形でした。

結成初年度のクラブカップ全国大会群馬県予選こそ準優勝で終わったものの、翌昭和61年に群馬県大会初優勝をし、その後連続群馬県大会優勝、連続クラブカップ全国大会出場を果たしました。

連続クラブカップ全国大会出場は、平成7年の大阪大会で10回となり、日本バレーボール協会会長より金の賞状(写真参照)を戴き、表彰されました。この大会では、出場チーム中平均年齢は最高、平均身長は最低でありながらベスト16まで進みました。

連続全国大会出場は平成8年大会における11回で途切れました。この11年間の間には、選手各人に環境の変化が様々あり、それは転職であったり、役職の変化であったり、結婚であったりしました。途中、高高OB以外にも門戸を開き、カナダ人がチームに入ったこともありましたが、良き友(メンバー)に恵まれ、良く勝ち続けたと思います。全国大会には、最初は独身者だけだったのが、奥さん方が入り、子供が入り、どの大会にも思い出深いものがあります。



●翠巒クラブ全国表彰で戴いた金の賞状

この時応援に来てくれた子供さんの中には、その後高高バレー部で活躍することになる子も出たことは嬉しい限りです。

この11年の間には2度国体群馬県代表となり、国体関東予選会(ミニ国体)に出場しました。1度目はコスモ石油と対戦し、第1セット翠巒クラブが10点を先取するという、クラブチームVS実業団チームでは考えられない展開となり、会場を大きく沸かせました。(旧ルールでは、この様な対戦ではクラブチームが1点取れたら上出来というのが普通)結局は0-2で負けましたが、惜敗でありました。2度目は富士フィルムで、ブロックの上から打ち出されるスパイクをレシーブするも点は取れず、2セット合計で5点くらいだったと思います。完敗でしたが、実業団と対戦できたことは貴重な体験でありました。

ここまでが第1期であり、この後100期台のOBが加入して第2期がスタートします。以下第2期は神尾圭祐君(101期)が担当します。

「翠巒クラブ9年ぶり王座」の文字が上毛新聞の一面を飾った。昨年5月に行われたクラブカップ全国大会県予選会の記事だ。順調に勝ち進み、決勝では宿敵PHONIXとの激闘の末勝利し、優勝することができた。ここに至るまでの道のりは長く険しかった。

80期前後を中心に構成されていた翠巒クラブが本格的にチームの若返りを図り始めたのが7年前。その頃大学生だった100期～102期のOBが続々と加入し、チームの若返りが始まった。メンバーは、当時県外に住む学生が多く、チーム練習もできないまま試合に出場することがほとんどだった。そんな不安定なチームではあったが、徐々にまとまり、メンバーも増えてきた。平成20年頃には、学生だったメンバーも

就職し群馬に戻り、母校の体育館を借りてチーム練習ができるようになった。チーム運営も完全に若手に切り替わった平成21年度、ついに県を制覇し全国大会に進むことができた。優勝した瞬間は本当に嬉しかった。これまでの7年間、人数が少なく6人だけで決勝まで戦い抜いたこと、本来とは違うポジションで戦ったこと、2点差で優勝を逃したことなど、かつての厳しい戦いかげんをよぎった。

全国大会は昨年8月、北海道苫小牧市にて開催された。県を制覇し勢いに乗った翠巒クラブは決勝トーナメントに進出した。初戦では予選で破った「八田クラブ」と再び戦うという珍しいカードを引いた。そんな相手に負ける訳にはいかず、意地の張り合いの末勝利をおさめた。二回戦の相手は地元北海道代表「REAL MACHINE」。手ごわい相手だったがフルセットで勝利をおさめた。続く三回戦の相手は元全日本セッター朝長選手が率いる「長崎教員クラブ」。この強豪チームと互角に戦うことができたが、惜敗した。結果は全国ベスト16。過去全国ベスト16は2度あると聞いていたが、翠巒クラブの最高成績に並ぶことができた。今後はさらにその上を目指したい。

以上がバレーボール部翠巒クラブの活動状況であります。昨年新生翠巒クラブが全国へ行けたことで合計16回クラブカップ全国大会出場が来ています。今後も翠巒クラブを通じてOB会の活性化、現役生への支援、翠巒体育会への寄与が出来ていければと思っております。



(1) 概要

翠巒クラブの発足は、昭和48年に誕生し、群馬県サッカーリーグ3部(現在は4部リーグまでである)に参加しました。発足当初は試合のメンバーが揃わないなか、東京の学生に参加してもらうなどして試合をし、苦しい台所事情の中、翠巒クラブを立ち上げたことが、創部35年史、青春の絆の中で語られています。

《発足した昭和48年度から57年までの戦績》
昭和48年度 5勝6敗1分

創業明治11年
総合建設業・一級建築士事務所
製材・プレカット・アスワッド

ISO-9001
認証取得

株式会社 研屋

専務取締役 清水 正郎 (野球部・75期)
本社/高崎市飯塚町805 TEL 027-361-5095

野球部OB **ハワイウォーター**

小林 均 (77期)
有限会社 小金
〒370-0865 群馬県高崎市寺尾町1614
TEL 027-325-4411(代) FAX027-325-4445

野球部(OB会長・62期)

代表取締役社長 **川手 義昭**

群馬小型運送株式会社
高崎市飯塚町1068 TEL 027-362-1000

株式会社 エイテック
高崎市中泉町811 TEL 027-372-8111

昭和49年度 2勝5敗1分
 昭和50年度 1勝8敗
 昭和51年度 5勝4敗
 昭和52年度 6勝2敗2分
 昭和53年度 12勝3敗1分
 昭和54年度 6勝6敗
 昭和55年度 15勝3敗
 昭和56年度 19勝5敗2分
 高崎市民大会優勝

昭和57年度 6勝7敗1分
 平成5年度には、念願であった群馬県サッカーリーグ1部に昇格し1年間は、群馬県内で最もレベルの高いリーグを経験(1年で降格)しました。

このような歴史を経て現在に至っております。

この間現役サッカー部が昭和49年度インターハイ出場、昭和56年度全国高校サッカー選手権大会(全国3回戦)、平成9年度インターハイ出場(全国ベスト8)などの戦績を残しその都度、これらのメンバーが主戦力となり翠巒クラブを支えております。

現在は平成9年度にインターハイに出場した選手たちが中心となり群馬県サッカーリーグ2部で活躍しております。

(2)平成12年度から現時点での戦績等
 平成12年度

会長杯 Eブロック代表
 (トーナメント3勝)

会長杯 ベスト16進出

(対三洋電機 1-3にて敗退)

3部Aブロック(11戦全勝 2部昇格)
 県総合選手権 3回戦にて敗退

この年は平成10年度より3部に降格しそれまでは、参加人数も毎回ぎりぎりの状態で10年度、11年度と2年連続3部3位で昇格できず悔しい思いをしてきており、京都インターハイ出場メンバーを数名新たにに加え、圧倒的な強さで2部昇格を決め大変充実したシーズンだったことを覚えています。

平成13年度

会長杯 3回戦にて敗退

2部 7勝3敗1分

県総合選手権 1回戦敗退

3年ぶりの2部リーグでの戦いはまずまずの成績でシーズンを終える。

平成14年度

会長杯 2回戦にて敗退
 2部 6勝1敗3分 3位
 県総合選手権 1回戦にて敗退
 2部復帰2年目、平成5年度依頼の1部昇格のチャンス到来、最終戦の対邑楽クラブに勝利すれば優勝1部昇格であったが、2-1で終盤まではリード、終了間際に失点2-2にて試合終了惜しくも3位に終わり悔しいシーズンでした。

(2位になれば悲願の1部復帰であった)

平成15年度 資料なし

平成16年度

会長杯 1回戦にて敗退

2部Aブロック 3勝7敗3分 9位

県総合選手権 2回戦にて敗退

ぎりぎり2部残留、学生の就職などによりメンバーがぎりぎりの状態が続いたが、粘り強く戦い何とか2部残留を果たす。

平成17年度

会長杯 2回戦にて敗退

2部Aブロック 1勝8敗2分 11位

県総合選手権 2回戦にて敗退

県リーグ3部降格決定、新興チームの台頭により苦しい戦いを強いられリーグ11位という残念な結果に終わる。

平成18年度

会長杯 2回戦にて敗退

3部Cブロック 6勝4敗1分 4位

県総合選手権 3回戦にて敗退

1年で2部復帰を目指し戦うも、3部リーグのレベルも数年前よりも高くなり4位にてリーグ終了。

平成19年度

会長杯 1回戦敗退

3部Bブロック 5勝2敗3分

県総合選手権 3回戦にて敗退

平成20年度

会長杯 1回戦にて敗退

3部Cブロック 5勝3敗2分 5位

県総合選手権 1回戦にて敗退

3部3年目リーグ中位の成績が続くが、少ない人数の中よく戦った。

平成21年度

会長杯 1回戦にて敗退

3部Cブロック 8勝2敗1分 2位

県総合選手権 1回戦にて敗退

選手一丸となり、苦しい試合も何とか乗り切り、渋い試合で勝利を引き寄せ2位に食い込み2部昇格を決める。4年ぶりの2

部復帰に沸く。

以上が最近の10年間の戦績です。成績のよかった年、残念な結果に終わった年、人数が集まらず運営が苦労した年、優勝を決めた年等翠巒クラブは歴史を積み上げてきました。

諸先輩方が創設した翠巒クラブは、卒業した後もサッカーをする場として、群馬県内の中位の地位を築き上げ成績に好不調はあるものの毎年リーグ戦やトーナメント戦等に参加し、現役時代にもまして参加者全員がサッカーを楽しみ、動けない体に鞭を打ってがんばっております。

創記を支えたメンバーは現在もシニアリーグ(40&50)で活躍するなど、まだまだ現役でサッカーを続けている先輩も多くおります。

翠巒クラブ創設37年、今シーズンからは4年ぶりに2部リーグ復帰、それに伴い新たなメンバーを加えシーズンを迎えました。やる以上は2部優勝を目指し1戦1戦を粘り強く戦うことが大切です。

これからも成績に浮き沈みはあると思いますが、このクラブはあくまでもサッカーを楽しむことが目的であり、生涯においてサッカーを続ける場を作ることが目的だと思っております。

県内でも高校のOBチームは数が少なく選手の供給源も限られている中で、我が翠巒クラブはよく戦っている方ではないかと思っております。

私自身も10数年間翠巒クラブでサッカーを続けてきて、週末のサッカーが楽しみで日々の仕事をがんばり、そして週末は試合。このような日々を送ってきましたが、サッカーをする事によって、より充実した日々が送れてきたような気がします。戦績欄に載せたコメントはごく一部でしかなく、重要だった試合の記憶は今でも鮮明に残っており、勝つために度が過ぎて味方選手に文句を言い、審判に文句を言い、けんかをしたこともありましたが、現役でサッカーをしていたころよりもサッカーを心から楽しんでいただと思えます。

これだけサッカーを続けていると他のチームの選手とも知り合いになり、翠巒クラブでは敵チームにいるのにシニアリーグのチームでは味方同士であったりとおかしなことになっている場合もあり、長くつづけていると楽しいことがたくさんあります。

このようなことをかなえてくれる草サッカーならではのチームが翠巒クラブの魅力だと思います。高崎高校のサッカー部OBで群馬県在住の方はこの機会に是非翠巒クラブでサッカーを始めるときかけになればよいかと思っております。

認知症介護13年の実績!
 共に生きる老人の家 **かがやき入野ホーム**
 理事長 **原 到**
 バレーボール部OB(78期)
 高崎市吉井町小暮568-1 TEL 027-388-5415

税理士 **高橋浩生** バレーボール部OB(78期)
白井浩一 水泳部OB(89期)
 高橋浩生税理士事務所
 〒3704002 高崎市大八木町3002番地10
 TEL 027-363-6303 FAX 027-363-6302
 URL http://www.kaikei-home.com/cpta_hiro-hp/

バレーボール部OB(79期)
ケンマ商会
 猿谷 稔
 〒379-2166 前橋市野中町397-2
 TEL・FAX 027-263-1198

ソフトテニス部

青春の絆



円陣部歌

KIZUNA

丸山 博 (68期)

高高庭球部の思い出

私の祖父は箕輪町で戦前から自転車店を営んでいた。「善造さんは毎朝草刈りをし、牛乳配達をして歩いて高中へ通った」というような話を子どもの時分に何度も聞いて育ったので、郷土の大先輩のテニスプレーヤー清水善造氏に憧れ、中学校でテニス部に入り、高高に入学してからもすぐに庭球部の門をたたいた。

時の主将は西村博さん(66期)だった。最初の出会いは春休み中に部室を訪れたとき、なんと野球のユニフォームで現れた。当時の野球部は人数が足りずに、応援で野球部メンバーになったようだった。今でも硬式野球は危険だと思っているが、それができるすごい先輩と驚いた次第である。

普段は吉野コートと中庭コートの2面で練習した。水曜(当時は半日だった)と土日は市営城内コート(今は公園になってしまった)で高崎市内全部の高校が1面ずつ使用した。第1コートは高工、第2は高商、我が高高は第3コートであった。第4、5コートが高女と市女が使っていて、他校の厳しい練習を目の当たりにして競争心が高まった。当時県連理事長の須藤清先輩にも指導していただいた。セカンドのバックレシーブは見事だった。

柳川町で薬局を営む塚越章司さん(58期)は水曜が定休日だったこともあり、よく指導に来てくださった。私もそんな先輩に憧れて、薬学部を志望校にしたこともあったのだが、実現には至らなかった。

夏合宿にはたくさんの先輩が指導に来てくださった。鈴木さんは鬼のような厳しい振り回して鍛えてくださった。田村屋の遠藤さんは楽しいダンスを披露してくださいました。その合宿の夜に台風が高崎付近を通過した。古い木製の窓ガラスは風で破れそうだったので覚えている。夜は蚊帳を吊ってその中に潜り込んで寝た。大澤宏海先輩にも大変お世話になり、早大に行きたいとも思ったが、私立に行く金はないと断念した。

私が2年の夏、北陸で開催されたインター

ハイに1年先輩の67期天田・瀬川組と清水(68期)・堀込(67期)組が出演し、峰哲彦監督のお付きとして同行させていただいた。天田さんは素晴らしい威力のファーストサーブを持っていて、あこがれの人であった。

我々の学年は清水、村松、山崎、信沢、そして丸山の5名だった。団体メンバーは69期の細野と清水が組んで1番手、村松・山崎組が2番、私は1つ年下の今井君と組んで3番という不動のオーダーで大会に臨んだ。5月の県総体では上位4校のリーグ戦、三つどもえの僅差で高高が優勝することができた。2位は渋高で共に千葉市で開催された関東大会に出場した。

関東大会では初戦千葉の成東高校に勝ち、順調に決勝まで進出した。決勝では名門長生高校。我々は当時白のトレパン姿だったが、相手は全員短パンだったのが印象深い。0-2で負けて結局準優勝に終わった。個人戦では清水・細野組が決勝戦まで進み、惜敗した。

私は峰先生の薦めもあり、東京教育大体育学部へ進学した。昭和48年、縁あって母校に体育教師として奉職することができ、8年間在職した。素晴らしい生徒に囲まれて充実した日々であった。

昭和53年、78期の原田佳幸君が主将を務め、浦野克彦君もメンバーとして県総体で10年ぶりの団体優勝をすることができた。対戦した太田高校は関東出場を逃したが、その後インターハイに出場し2位となった。また、高商の大將松井・原田組は関東個人優勝をした。そのようなハイレベルの中での勝利であったので喜びも格別であった。市営コートで優勝カップを中心に、円陣を組み、勝俣真先輩(52期)や塚越先輩とも肩を組んで庭球の歌を高らかに歌った。

その前後にも75期の石田・中坪、79期大竹・原、80期丸山、81期須藤、森岡・須賀等の選手が県の上位に進んだ。81期の須賀君は群馬大学卒業後教員となり、県内外で大活躍し

ている。昨年度関東教員大会で私とペアを組んでくれた。おかげでこの年にしてシニアの部で優勝することができ、感謝している。

55年度には82期の諸君が1年生大会で上位を独占した。そのまま高高で指導したいと願ったが、あかぎ国体事務局へ転勤となり、学校現場を去った。その翌年度全国選抜3位という素晴らしい成績を挙げたことを聴き本当に嬉しかった。

現役諸君も井坂監督の指導の下、大活躍を見せてくれていて頼もしい。また何度でも団体戦で県の覇者となり、円陣を組み庭球の歌を歌って欲しい。「嗚呼東西の両洋にテニスの覇者と歌われし好漢清水を出したる我らは高高健児なり」好漢清水善造の後輩として。追記: 奇しくも原稿を送付した後の昨日(5月16日)平成22年度第45回群馬県高校総体ソフトテニス大会において高崎高校が28年ぶり4回目の団体優勝を果たしました。長年待ちに待った総体優勝です。おめでとう! 関東大会での活躍をお祈りします。

KIZUNA

石田 和久 (75期)

テニスを通じての絆

卒業して35年・・・高校時代を思い出すと、私には部活動、それもつらかったこと・試合に負けて悔しかったことが大半を占め、楽しかったことは意外と心に残っていないものだと感じた。

私がソフトテニスを始めたきっかけは、多分、父が学生時代にテニスをしていて、ラケット(グリップまですべて木)が家にあり、小さいときに何回かそれで遊んだ記憶があり、中学でソフトテニス(当時は軟式庭球)部に入学したこと。それから40年近くソフトテニスにかかわっている。スポーツの楽しさ、最初は上手になろうとボールを打つこと、次に勝負にこだわり、勝った時の嬉しさ、そして今は、これまでテニスを通じて知り合った先生・先輩・同期仲間・後輩・・・と、時にはOB会などで酒を飲みな

目指せ! 全国制覇 高崎高校ソフトテニス部

祝

H22 総体団体優勝 関東大会 団体・個人出場

ソフトテニス部OB会
会長 丸山 博(68期)

から昔話をしたり、これからのことを話したりすること・・・かけがえのない、すごい財産が築けたと思う。

高校入学前、中学生・高校生の合同練習会で顧問の鴻巣先生と知り合い、高々軟式庭球部に入部。現在はプールになっているところに吉野コートと呼ばれたテニスコートがあり、そこ、現在は市内高松駐車場・公園になっている、当時は市営城内テニスコートで練習をした。特に市営コートでは、他の高校も練習しており、お互いに意識して競いあい、そして友ともなった。合宿では翠巒会館に泊まり、私は食が細く、先輩からは、「食べなければ、明日の振り回し練習(コートに一人で入り前後左右振り回される)は、普通10分のところお前だけ20分やる」と言われ・・・しかし先輩!自分にとっては罰にはならず、余分に打てて楽しかったのですよ。2年生の時に、中坪君と組んで福岡インターハイに出場出来たものの、秋の新人戦では早く負けてしまい、しかし同期の鈴木・大塚組が優勝し、勝俣先輩、塚越先輩始めOBから、久しぶりのインターハイ団体戦出場の期待をよせられました。残念ながら実現しませんでした。3年生の地区予選前には、体育のラグビーで左鎖骨を骨折してしまい、上半身ギブスをした状態で大会に出場した思い出もあります。その他思い出するいろいろなことがあるが、その思い出の中で現在でも進行中なのが、人とのつながりです。高々だけに限らず、当時知り合った、お世話になった、先生、OB、先輩、同期、後輩・・・今でもおつきあいさせてもらっています。会った時には、「昔」の思い出話をしたり、近況を語ったり、テニスのお話をしたり・・・今でも勇気をもらって、本当に感謝です。

10年ほど前から縁があり、小学生を中心としたクラブで指導を行なっています。先輩達が私に与えてくださったものを引き継ぐ恩返しとともに、自分の健康のため、一年中真っ黒になってコートに出ています。小学生への指導なので、技術よりも、あいさつ、返事や後片付けなど日常生活で大切なことで日々ほめたり、叱ったりして、数十年前の「近所のこわいおじさん」役を演じている。最近では、全国各地に遠征に行くようになり、子供たちは、うらやましいことに、そこですぐに新しい友達を作る。私は学生時代に知り合った友人と久しぶりに会い、懐かしい話に花を咲かせるとともに、子供たちに負けず他のクラブの指導者たちと新しい

交流をつくっています。

「絆」というほどのものではないかもしれませんが、自分はこれからも「人とのつながり」を大切にしていきたいと考えています。そういう意味で私はソフトテニスに感謝です。

KIZUNA 原田 佳幸 (78期)

我らは高高健児なり

私は現在、高崎市立高松中学校で教鞭を執りながらソフトテニス部顧問として生徒と共にソフトテニスを楽しんでいます。教職生活27年の内、21年間ソフトテニス部の顧問として部活動に没頭してきました。生徒にも恵まれ、赴任した先でも大先輩の故勝俣眞さん(52期)や恩師の丸山博先生(68期現OB会長)にご支援していただき、県大会優勝・関東大会優勝・全国大会3位という結果を残すことができました。また、プレーヤーとしてもシニアの大会に参加しソフトテニスの奥深さを堪能しています。昨年は、群馬県代表として全日本マスターズ大会(静岡)に後輩の中村孝雄君(80期)・須賀博之君(81期)と参加しました。好きなソフトテニスをやりながら充実した生活を送っています。これほどまでにソフトテニスの指導に情熱をかたむけることができたのは、やはり、高崎高校ソフトテニス部で過ごした貴重な3年間があったからだと思います。

私が中学3年生の時、関東大会の強化練習会で国体選手であった先輩の石田和久さん(75期)のプレーを見て、私も是非高崎高校のソフトテニス部に入りたいと決心しました。監督は丸山博先生で『自分たちが優勝して以来、高高は優勝していない。だから、君たちの代で10年ぶりの優勝をさせたい。そして、高高庭球部の歌をみんなで歌おう』と話してくれました。1年生の時は、校舎の一番西にひっそりとしたコート(吉野コート)が1面あるだけでなかなかボールを打たせてもらえませんでした。唯一の楽しみは、週2回の城内コートでの練習でした。そこに行くとなぜか毎日故勝俣眞先輩と塚成章司先輩(58期)がコートに来てくれていて親切丁寧に指導してくれました。卒業してみると先輩の偉大さに気づくばかりで、先輩のように後輩に対して面倒をみてあげることができないでいる自分を情けなく感じます。2年生の時に創立80周年のおかげでテニスコートが体育館の前に4面完成しました。そのおかげでボ

ールを打つ量が増え、効率もよくなったので、みんなの技術がどんどんレベルアップしました。また、ランキング制とインターバルトレーニングを監督が導入し、モチベーションと基礎体力が向上し、戦う集団へと変化していきました。新人戦はベスト8止まりでしたが充分な手応えを感じていました。しかし、冬になると参加率が下がり、キャプテンとして最も苦しい時期を過ごしました。それでも、同期の浦野克彦君(元高崎高校監督で現高体連委員長)がいつしよに観音山を走ってくれたり、清水寺の階段を上り下りしてくれたりしたことが心の支えになりました。そんな努力を地道にしていると『原田ががんばっているんだから俺たちも優勝目指してやろう』というムードが高まり、再びコートに活気が出てくるようになりました。3年生の総体では、個人戦では山田・吉江組がベスト16で関東大会出場を果たしました。翌日の団体戦では気持ちを切り替えて臨み、第3シードの前商を2-0で撃破しベスト4に進出しました。この知らせを聞いた数多くのOBが喜んで城内コートに駆けつけてくれました。また同期の高橋浩生君(現翠巒体育会会長)がバレー部等の仲間を呼んで応援してくれました。なかなかまとまりきらなかった部員を故家内雅美君(78期)が一つにまとめ、ネットを揺らすような応援してくれました。目に見えないものすごいエネルギーに後押しされながら試合を迎えることができたのです。第1対戦は新興勢力の農二でした。第2対戦は優勝候補筆頭の太田高校(この年のインハイ準優勝校)、1番手で後輩の大竹・原組が個人戦準優勝ペアを4-2で倒し、2番手で原田・八木組が2-3の劣勢を監督の両手打ちで目を覚まし、逆転勝ちをしました。最終戦はインハイ選手を3人揃えている高商、1番手の大竹・原組が4-3で先手を取り、2番手の原田・八木組は相手の大将(この年の関東優勝ペア)をアタック13本と攻めまくり念願の優勝を果たすことができました。優勝した瞬間は何度もガッツポーズをしてみんなの声援に応えていました。表彰後は優勝カップを真ん中にして応援してくれた仲間とOBとともに大きな輪を作り、肩を抱き合い、声高らかに『高崎高校庭球部の歌』を歌いました。このときの感動が32年経った今でも私の心の中にあります。できればもう一度OBとして優勝の輪に入り、現役学生と共に歓喜を味わえるように応援していきたいと思っています。

情報システム株式会社

榊原 一好

(バスケット部 79期)

本社 〒370-0032 群馬県高崎市宿大類町1461番地1
TEL.027-350-1277(代) FAX.350-1278

株式会社 塚本工務店

塚本 浩史

(バスケット部 99期)

本社 〒375-0024 群馬県藤岡市藤岡1848-1
TEL.0274-23-1212(代) FAX.0274-24-2300

高崎白衣大観音 高野山別格本山 **慈眼院**

住職 橋爪 良真

(バスケット部 75期)

高崎市石原町2710-1 TEL.027-322-2269
http://www.takasakikannon.or.jp/

副校長に金井氏^{74期}赴任



副校長 金井尚之

ごあいさつ

初代副校長松原眞介先生の後任として4月に赴任いたしました金井尚之です。群馬県で教員採用後、教諭として中之条高校・中央高校・高崎女子高校、教頭として富岡高校定時制・高崎経済大学附属高校に在職してまいりました。教科は地理歴史科です。この度縁あって母校（昭和50年3月卒業、74期）に勤務することになりました。たいへん光栄であり、責任の重さを感じる次第です。

今回、翠巒体育会の高橋会長から原稿の依頼をいただきましたが、私は高々在学3年間「新聞部」の所属で、それだけでも恐縮してこれを書いております。そこで、在学当時の体育にまつわる思い出と高々の現況を記して、ごあいさつに代えさせていただきます。

まず、前高との定期戦では負け知らずの3連勝で卒業した学年です。1年次前高で行われた第26回定期戦では、騎馬戦での乱闘ぶりを目の当たりにしました。こちらは授業でも使っていた強力なラグビージャージでしたが、前高は清潔そうな上下白のジャージだったと思います。お互いに騎乗でジャージを引っ張り合い、前高生のジャージが何人か引き裂かれていたのを見ました。また、どちらが仕掛けたのか生卵が投げられていたのも覚えています。案の定、高高100年史で確認しますと、高高の3年生が頬を殴られて入院する騒ぎとなり、次回から騎馬戦は廃止となりました。こういう荒々しい雰囲気

気の時代であったのか、2年次の翠巒祭ファイアーストーム後、学校所有の自動車パンクさせられたりペンをかけられたりした事件が起こり、3年次のファイアーストームは中止となりました。

2年次に上がる時安居次夫校長が退職され、昭和48年4月に中野敏宗校長が赴任されました。個人的には、1年次大井恵夫先生（国語）のあと、2年次小林馨先生、3年次江原隆起先生と体育の先生に担任としてお世話になりました。

在学当時の運動部の活躍では、バスケットボール部・サッカー部・陸上部・ソフトテニス部がインターハイ出場、野球部・ラグビー部が北関東大会出場を果たしていました。中でも同期の岡村武彦君（投手）、75期の清水正郎君（捕手）を擁する野球部は、北関東大会で決勝進出を果たし、向田投手の前工と甲子園出場をかけて対戦しました。残念ながら甲子園出場はなりませんでしたが、高高生にとって興奮の夏でした。岡村君には、現在PTAの本部役員としてお世話になっております。

本年5月20日には、日本ラグビーフットボール協会副会長の真下昇氏（56期）をお招きし、「私とラグビー人生」と題して「創立記念講演会」が盛大に催されました。現役の高高生に夢に向かって挑戦することの大切さを迫力ある語り口で伝えていただきました。

最後に、今年度の県高校総体の結果を報告させていただきます。ソフトテニス部・軟式野球部が優勝、バレーボール部が準優勝、柔道部と山岳部が第3位で、以上が団体で関東大会出場を果たし、陸上部が総合第3位でのべ14種目で北関東大会出場を決めました。その他、バスケットボール部・ラグビー部・剣道部・空手道部がベスト8に入り、学校対抗の総合成績では前橋育英高校に次いで第2位（昨年は第5位）となりました。

母校運動部の後援について、「翠巒体育会」の皆様には引き続きお世話になりますが、今後ともよろしく願っています。

21 事業報告

- 4月13日
 - 第1回編集会議
- 5月27日
 - 高校OB対抗ゴルフ大会へ援助金
 - 高高同窓会ゴルフ大会より預り金を渡す
- 6月3日
 - 関東大会出場の部へ祝金
- 6月3日
 - 第2回編集会議
- 6月15日
 - 監査役会
- 6月15日
 - 第1回役員会議・理事会議
- 6月22日
 - 第34回定期総会・懇親会
- 6月22日
 - 翠巒体育第28号発行
- 8月12日
 - ゴルフ大会役員会議
- 9月6日
 - 第19回ゴルフ大会
- 9月18日
 - 高校OB対抗ゴルフ大会（出場者慰労）
- 10月20日
 - 第2回役員会議
- 10月30日
 - 関東大会出場の部へ祝金
- 11月13日
 - 関東大会出場の部へ祝金
- 11月25日
 - 高崎高校マラソン大会 優秀者表彰
- 3月1日
 - 高崎高校卒業式

御宴会、慶弔のお席、同窓会、PTA、趣味のお集まり等に…。

刺ま魚件

取締役社長 羽鳥修司（卓球部・63期）
高崎市九蔵町17 TEL 027-322-2428
FAX 027-326-7070

株式会社 システムハウス

代表取締役 堤 康高（卓球部71期）
群馬県高崎市栄町15-9 きむらビルII 4-B
TEL 027-327-8451 FAX 027-327-8480
URL <http://www.sysh.jp/>

株式会社大陸不動産

代表取締役 山口 正敏
（卓球部・58期）
高崎市宮元町108番地 TEL.027-322-4031

第34回定期総会・懇親会

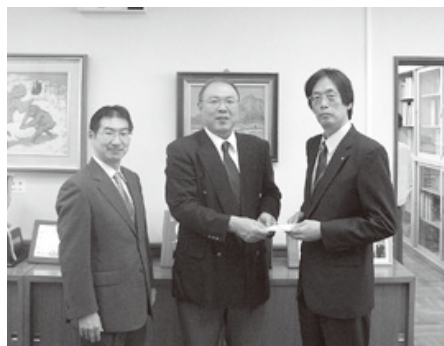
サッカー部/根岸 強(87期)

翠巒体育会の第34回定期総会・懇親会が平成21年6月22日、高崎ビューホテルにて、役員、OBの参加多数にて開催されました。初めに高橋浩生会長の挨拶の後、平成20年度事業報告、監査報告、会計報告が行われ、役員改選により、会長、副会長の選任、会計、監査の選任が満場一致で承認を得ました。

続いて21年度事業案、予算案の承認、役員退任が行われました。議事に引き続き第17回高高同窓会ゴルフコンペ、(73期担当)第108回高中・同窓会(79期担当)の紹介が行われ、閉会いたしました。

定期総会終了後懇親会が行われ、高橋会

長の挨拶においては、現役諸君が「勝利を目指して充実した時間がすごせるように」とのお話がありました。藤倉新一高崎高校校長の挨拶、同窓会長の挨拶、PTA会長の挨拶と続き、乾杯の発声の後、現役顧問の先生の紹介に続き、高校総体等の結果報告、各運動部OB会の紹介、記念撮影と会が進行し、充実した懇親会がとりおこなわれました。最後に全員で翠巒合唱で中締めとなりました。



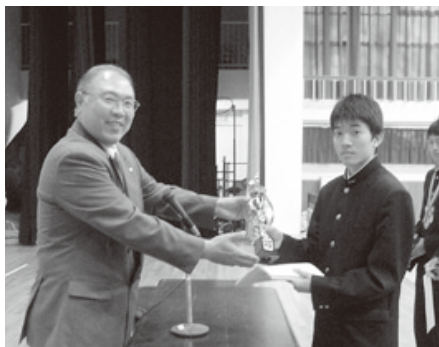
●関東大会出場の一部へ祝金贈呈



●翠巒クラブ(バレーボール)全国大会出場 祝金贈呈



●第34回定期総会・懇親会



●高崎高校マラソン大会 優秀者表彰



●第34回定期総会・懇親会



●卒業式

21年度 翠巒体育会収支計算書

自平成21年4月1日 至平成22年3月31日

科目	金額	摘要
収入の部	年会費収入	350,000 @25,000×14部
	同窓会補助金	300,000 高崎高校同窓会
	広告費収入	210,000 @15,000×14部
	親睦会収入	225,000 H21. 6.22 高崎ビューホテル
	ゴルフ大会収入	427,000 H21. 9. 6 サンコー72カントリークラブ
	ソフトボール大会収入	0
	雑収入	153,000 同窓会ゴルフ補助金、祝金、会議個人負担
	受取利息	271 群馬銀行
	(当期収入合計)	(1,665,271)
	前期繰越収支差額	665,713
収入の部合計	2,330,984	
支出の部	総会・親睦会費	396,627 H21.6.22 高崎ビューホテル
	現役補助金	136,525 関東大会、インターハイ等出場の運動部、マラソン大会、OB対抗ゴルフ
	会報発行費	333,900 [翠巒体育]第28号
	ゴルフコンペ費	316,786 H21. 9. 6 サンコー72カントリークラブ
	ソフトボール大会費	0
	慶弔見舞金	44,175
	事務用品・通信費	30,400
	会議運営費	191,043 編集会議、役員会議等
	銀行振込手数料	210 群馬銀行
	(当期支出合計)	(1,449,666)
特別会計拠出金	200,000 特別会計への拠出金	
支出の部合計	1,649,666	
(収支差額)	(15,605)	
次期繰越収支差額	681,318	
収入の部合計		
支出の部合計		
		(当期収入合計) - (当期支出合計)
		収入の部合計-支出の部合計

財産目録 平成22年3月31日現在

科目	金額	摘要
資産の部	現金	639 現金手許有高
	預金	680,679 群馬銀行高崎栄町
	正味財産	681,318 (普) #0783238 一般会計分

特別会計 平成22年3月31日現在

科目	金額	摘要
資産の部	普通預金	700,842 群馬銀行高崎西 (普) #0593363 特別会計分
	特別会計財産	700,842 一般会計より 200,000円の拠出金を受け入れました

口座振込ご利用の場合は、下記口座までお願い致します。
群馬銀行 高崎栄町支店 普通預金0783238

スィランタイクカイ カイケイ ヨシシヨウイチ
翠巒体育会 会計 吉井章一

群馬トヨペット株式会社

前橋市石倉町 2-6-5

TEL 027-251-5111(代) FAX 027-252-1251

代表取締役社長 大山 駿作(剣道部71期)

高々剣友会

会長 藤木 正行
(剣道部69期)

高崎市南大類町1296
TEL 027-352-0026

(有)カサイ消火器

笠井 秀昭
(剣道部56期)

高崎市江木町67-10
TEL 027-321-8222



●第19回翠巒体育会ゴルフ大会(平成21年9月6日・サンコー72C.C.)

第19回ゴルフ大会団体戦優勝
卓球部/真下 啓一(85期)

9月6日、サンコー72カントリークラブで第19回翠巒体育会ゴルフ大会が開催されました。卓球部同級生の誘いもあり、また最近ゴルフに熱中してきたこともあり、今回思い切って初参加とさせて頂きました。驚かされたのが、107人という人数の多さと(ホームページでみたところ過去最多!)51期~103期といった幅広い世代の方々の参加です。最近のゴルフ人気の高まりや、年齢に関係なく一緒に楽しめるゴルフというスポーツのすばらしさを改めて感じさせられました。

さて成績ですが、我が卓球部は団体戦で見事優勝、昨年に引き続きなんと2連覇を達成しました。卓球とゴルフという全く別物のスポーツという印象があるかと思いますが、実はスイングにおける腕の使い方(特にフォロー)、小さな球を捉える感覚など、この二つのスポーツには通ずる物があると私は思っております(ややこじつけ気味で

すが)。

来年も是非参加し、卓球部の3連覇に向け少しでも戦力になれるようになることを目標に、今後もゴルフを続けていきたいと思います。

最後に、これだけの規模のコンペを仕切った幹事のみなさん、大変御苦労さまでした。

第19回ゴルフ大会 個人優勝
バレーボール部/佐藤 貞治(70期)

第19回翠巒体育会ゴルフ大会で優勝させて頂いていたバレー部の佐藤です。

普段ゴルフコンペに参加しても、飛び賞にも入らないような私が、参加人数が100人を超えるような大会で優勝するなど大変な驚きです。

後日、プレーの内容を振り返ってみると、普段私の力量では、取ることが難しいバーディを3ホール、特に普段では絶対あり得ないような、アプローチによるチップインバーディまであり、その上、新ペリアむきにダブルボギーが4ホールという結果でした。

優勝するというのは、普段考えられない何かが起こった結果と思われま。

それは運なのか、普段の努力なのかわかりません。今思えば、知らない人とのプレーをあまり好まない私ですが、今回、高高OBとのプレーということで、ほど良い緊張感のうにリラックスできたことが実力以上の結果を生んだと考えられます。ここに一緒に楽しくプレーしていただいた、村椿さん、宮下さん、広兼さんに感謝します。

ただ残念なことは、2回目の70台を出せなかったことです、その原因はと考えると最初のホールと最後2ホールのダブルボギーであり、特に最終2ホールは70台がみえたとき自分の弱さが露骨に出たことです、今回、運で優勝できましたが、来年は努力により70台でバレー部に貢献できるようがんばります。

最後に、大会運営に尽力してくださった方々に深く感謝します。ありがとうございました。

●団体戦

順位	運動部名	合計
1	卓球	328
2	応援	332
3	野球	332
4	陸上	339
5	柔道	340

同スコアの場合は、5人目のスコアの良い順番となっています。

●ネット個人戦

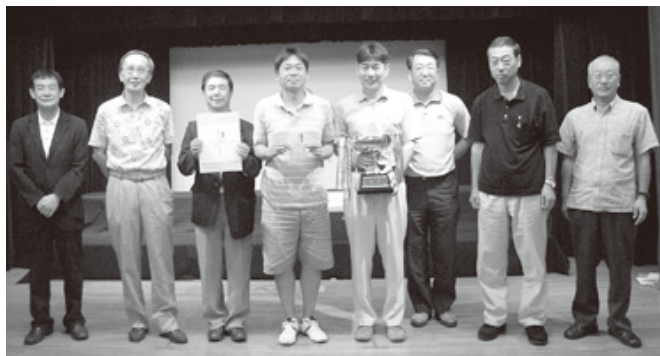
順位	氏名/運動部名	高崎	吉井	グロス	HCP	ネット
1	佐藤貞治(バレー)	39	41	80	9.6	70.4
2	木内寛樹(応援)	38	39	77	6.0	71.0
3	吉田健一(卓球)	39	43	82	10.8	71.2
4	吉田和人(蹴球)	35	41	76	4.8	71.2
5	堤 康高(卓球)	38	41	79	7.2	71.8

●グロス個人戦

順位	氏名/運動部名	高崎	吉井	グロス
1	江原 功(野球)	36	40	76

●グロス個人戦(シニア)

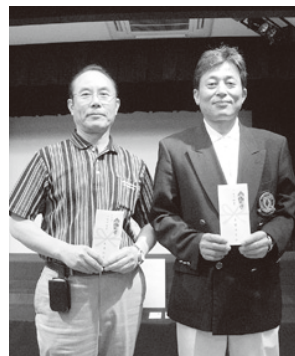
順位	氏名/運動部名	高崎	吉井	グロス
1	立見友孝(バスケット)	39	36	75



●団体優勝の卓球部



●左から個人戦準優勝の木内さん、優勝の佐藤さん、3位の吉田さん



●左からシニアベスグロの立見さん、ベスグロの江原さん

山岳部OB(78期)

税理士 吉井 章一

吉井章一税理士事務所
高崎市上中居町251 TEL 027-328-6701

山岳部OB(84期)

代表社員・税理士 **真下 哲夫**

税理士法人 真下経営
高崎市倉賀野町1713 TEL 027-346-1463

リフォーム工房
株式会社 **スカワ**

SUKAWA 代表取締役 新川 光一 (山岳部79期)

高崎市倉賀野町1717 ☎0120-827-026
http://sukawa-reform.com

OB 各運動部OB会の近況報告



剣道部

小池 政一
(77期)

72期廣兼氏の尽力で、長年の課題であった剣道部OB会ホームページを立ち上げることができた。翠巒体育会のホームページともリンクさせていただいた。

ホームページでは「先輩訪問」と題し、OBの社会での活躍ぶりや趣味の世界を紹介している。また、「剣友会だより」として、OB会の情報や事務局からの連絡等を掲載している。さらに、「高校剣道部の現況」では、練習試合や公式戦の現役高高校剣道部の活躍ぶりを載せている。

OBに積極的に閲覧してもらいたいと、メール連絡網を整備し、記事が新しくなるたびに、事務局からその旨送信している。事務局にメールアドレスを知らせていないOBは、ぜひメールをいただきたい。

メールアドレス takatakakendo@gmail.com



柔道部

志田 登
(82期)

1月3日に恒例の新年初稽古を高高校柔道場にて実施し、現役選手との対抗戦などの稽古を行いました。

初稽古終了後は、市内のホテルに会場を変え、新年総会を盛大に開催いたしました。近年、初稽古だけでなく、新年総会においても顧問の鳥居先生(73期)のご指導を受けた若手OBの参加が多くなってきており、50期代から100期代までの約半世紀に亘るOBが期別に近況報告を行い、世代を超えてOB間の交流を深める機会となっております。

また、新年総会では、現役選手がOBの前でその年の抱負を述べる機会を設けておりますが、人前で話すことに慣れていないため、緊張した表情の者もございましたが、今年も現役選手のそれぞれから心強い抱負が述べられました。是非とも、鳥居先生の指導の下で、それぞれの抱負を実現してもらいたいと期待しております。



硬式野球部

吉井 剛
(80期)

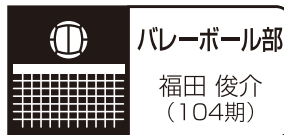
平成21年度の硬式野球部OB会は、定期総会をはじめ、選手激励会、夏季大会の応援など例年通りの行事を継続しました。また、数年来開催することができなかった前橋高校硬式野球部とのOB定期戦も実施し、OB同士交流を深めました。今年度は、巻頭にもありますように翠巒クラブ(OBの壮年野球チーム)を結成し、活動を開始したところでもあります。

OB監督の境原氏(81期)が就任し数年が経ち、いよいよ甲子園への期待も大きくなってきております。OB会としても、川手会長(62期)を中心として、一致団結して現役諸君の活躍を応援していきたいと考えております。OBの皆様には、ぜひグラウンドに

足をお運びいただき、監督ならびに選手への激励をお願いできればと存じます。今後ともよろしく申し上げます。



前高とのOB戦終了後(高々グラウンドにて)



バレーボール部

福田 俊介
(104期)

我々バレーボール部OB会は、平成22年1月3日、昼は現役との交流戦、夜は40名ほどで新年会を開催しました。このほかお盆に開催されるOB会の活動の他にも、群馬県内に残るOBを中心に組織される「翠巒クラブ」という社会人バレーボールチームで週2日程度練習しております。わたしは社会人となった今でも、高崎高校で共に汗を流した仲間とこうして交流できることを大変うれしく思っています。

近頃では現役生とも合同練習をしながら、お互いに切磋琢磨し、昨年は9年ぶりに群馬県内の大会で王座を取り返すことができました。また諸先輩方の御協力の元、8月には北海道で開催された全国大会に出場することができ、ベスト16という成績を残すことができました。この時OBの皆様並びに翠巒体育会からも多大なる御芳志を賜り、この場をお借りして御礼申し上げます。

今後も高崎高校の名に恥じぬよう、また少しでも翠巒体育会の発展に寄与できるよう、継続して活動していきたいと思っております。引き続き御指導御鞭撻の程、よろしくお願い致します。

引き続き御指導御鞭撻の程、よろしくお願い致します。



ソフトテニス部

田口 恵一
(74期)

平成21年度、恒例のOB会は8月15日に開催しました。例年通り、昼の部は高高校テニスコートにて現役とOB29人との親善試合を行い、夜の部は長谷川ホテルにて、総会及び懇親会をベテランOB中心に参加者18名で行いました。今年はおブザーバーとして、かつてのライバル佐藤建治さん(高商32年卒)が昼夜とも参加しました。佐藤さんは高高校現役の選手に強烈なストロークでボールを打ち込み、夜は高高校OBに負けず飲みっぷりで懇親を交わしました。高校を卒業して50数年経った後、こうして一緒に酒を交わせるのは、ソフトテニスを通じて真剣に戦った仲だからだと思えました。佐藤さんのおかげで例年よりいっそう盛りあがったOB会となりました。

引き続き御指導御鞭撻の程、よろしくお願い致します。



秋山土地開発株式会社
代表取締役 秋山 賢治
(応援部OB会 会長 74期)
藤岡市中大塚223番地1 TEL.0274 (24) 3911

「自分らしい、いい就職」を「ふるさとで働く」を応援します。
就活応援団
www.shukatsu-ouen.jp
TEL 027・310・2080 (81期・応援・藤井)

RISE® ライズ総合保険
損害保険・生命保険はお任せ下さい!
富田 和弘
(応援部 85期)
〒370-0044 群馬県高崎市岩押町25-18 TEL 027-322-2364



応援部

藤井 正弘
(81期)

今年は79期の先輩が同窓会幹事でしたので、OB会新年総会や全体同窓会で、同じ時間を過ごした応援部の先輩方と30年振りの再会と、一緒にステージに立つことができ、感激しました。気の置けない直近の先輩方と酌み交わすお酒は本当に美味しいものですね。「青春の絆」っていいですね。OB会万歳です。

現役応援部も今年は、1年生が4月中に4名入部しました。2年生がゼロという危機的状況でしたが、これで一安心。聞くと「応援部がカッコイイ」と思ってくれて入部した生徒がいました。大変頼もしく、嬉しいことです。絶えることなく「青春の絆」を繋いで欲しいものです。現役たちの価値観と主体性を尊重しながら、OB会として見守り続けたいと思います。



バスケットボール部

橋爪 良真
(75期)

昨年度のOB会総会は7月3日(日)、一昨年に引き続いて観音山慈眼院にて開かれました。役員改選の年であり、新会長として榊原一好(79期)が選出され、執行部もいっそう若手中心に編成されました。活動状況は例年の如くで、現役への応援や元旦交流会などですが、特筆すべき事業としてOB講師による講演会を開催いたしました。12月12日(土)、東口のエテルナにて、岡田雅人大阪大学微生物病研究所教授(75期)の「高高バスから基礎医学研究へ」、また高々・中大・実業団とマネージャーひと筋の塚本浩史(99期)による「元マネージャーの言いたい放題」の演題にて、現役の1・2年生並びに父母会の皆さん、OB会員、御来賓の荒瀬宏高崎市バスケットボール協会会長・高橋浩生翠巒体育会会長など約60名に、主に現役生向き内容の講演をしていただきました。講演会・懇親会ともに盛大で、たいへん好評を博しました。昨年同窓会セミナーで、OBの橋爪健弁護士(74期)が講演されたように、OBのなかに講師人材が豊富にありますので、しばらくこの方面からも現役支援を継続していきたいと考えています。



山岳部

吉田 茂司
(77期)

山岳部OB会の活動の前提とすべく、昨年の総会決議を受け、①OB会費の新規設定：一人年間1,000円(ただし3年ごと)、②OB会員へのアンケートを実施いたしました。

結果は、①約4割の会員から納入にご協力をいただき、我が山岳部OB会への参加意欲の高まりを感じることができました。②約3割の会員からご意見をいただくことができました。そのなかで、現役山岳部への様々な協力の必要性和、会員相互の親睦(ハイ

キング等を含む)といった方向性が示されました。

具体的な活動方針策定に関しまして、幹事会等で様々な検討を進めていく予定です。



陸上部

波多野 重雄
(77期)

去る5月11日(火)、平成22年度高崎高校陸上部OB会の役員会を開催しました。議題は、役員改選、総会、現役生への支援についてで

した。役員改選は、昨年度まで3期7年務めた70期谷一行会長から、74期木村隆一さんを新会長に推挙する提案がなされ、満場一致で決まりました。総会にて承認されますと、新会長の誕生となります。また、今年度の総会は、現顧問の田島先生のご都合で7月23日(金)に決まりました。会場はビューホテルです。昨年にも増してたくさんのご参加をお待ちしております。現役生への支援では、今年度、中長距離やマイルリレーで沖縄開催の全国総体への出場が期待されます。会費の納入もよろしくお願いします。なお、今年度から5年以上返信がない方への案内の発送を取りやめました。その分も現役生への支援に回したいと思います。ご了承ください。



ラグビー部

黒石 康暢
(81期)

1月9日に恒例のOB総会ならびに懇親会を高崎ビューホテルにおいて開催した。今年は日本ラグビーフットボール協会専務理事の真

下昇先輩(高高56期)にも大変多忙の中、出席して頂き、以前より増して盛況となった。真下先輩より2016年オリンピックから正式種目にラグビー(7人制)が採用になったこと、さらに2019年ラグビーワールドカップ日本開催に関する抱負と意気込みを語って頂いた。また、高高ラグビー部の進むべき道などを熱く説いて頂き、今後のOB会活動の参考となるものであった。

3月22日には、第3回高高ラグビー祭を豊岡グラウンドにて実施した。現役・ベテランOB・若手OBの順に白熱したゲームを展開。高高ラグビー魂を存分に発揮した。ゲーム終了後は、現役・OB・保護者会・相手チーム合わせて80名以上が、バーベキュー、ビンゴゲーム、オークションと大いに盛り上がり、最後にラグビー部部歌を全員で歌いエールで氣勢を上げた。OB会活動については、高崎高校ラグビー部OB会ホームページを参照されたい。

高高ラグビーの復活、さらには日本ラグビーの隆盛のため、内田OB会長はじめOB会員数名は少年ラグビーのコーチをしています。元気の良いお子さんがいたら是非紹介して下さい。日曜日の9:00高崎豊岡グラウンドで待っています。



水泳部

永尾 俊弘
(70期)

高崎高校・同窓会・翠巒体育会では、応援部・ラグビー部の存続問題がここ数年話題となっております。しかし、高崎高校水泳部が現役の部員難のために「今や水泳部は、絶滅危惧種だ。」と、水泳部部長が校内雑誌「群馬」で2年続けて訴えおられます。今年度は顧問の前田敏明先生のご助力のおかげで、何とか存続

真木会 真木病院 高崎PET総合画像診断センター
ガンの早期発見のためにペットドックを

高崎市筑縄町71-1 ☎027-361-8411

永尾 俊弘(水泳部 70期) 真木 武志(バスケット部 72期)

できました。それを反映してか、水泳部OB会の活動も今年度は、残念ながらやや低調でした。平成21年12月25日に有志による忘年会、翌22年1月9日にやはり有志による新年会を、何とか催すことができました。

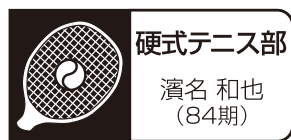
OB個人の活動となりますと他のOB会に負けないうらい活発です。先ず、須藤 聡 (78期) は高崎商業高校赴任を機に、現在の水泳競技の根本的な問題である「プールのない学校に進学してしまったが、水泳は続けたい。しかし、もうスイミングクラブでは練習したくない。」という高校生たちのために、高崎水泳協会と連携し、浜川プールで合同練習会を主催しております。クラブスポーツをマスコミ等では絶賛しておりますが、まさにスイミングクラブ全盛の水泳競技の暗部に射し込む一筋の光明だと思えます。また、角皆優人 (72期) が昨年6月「速く泳げるようになるクロール50のコツ」、7月に「大人の水泳教室」の二つの教則本を相次いで上梓しました。彼は、個人的にも全日本マスターズ大会50m自由形で2度優勝しています。さらに、アクアウイング (長野県長野市) で「これからのマスターズ水泳教室」を主宰しており、参加するだけのスポーツではなく、記録を目指す中高年のためのスポーツ活動を他に先駆けめざしております。両君のめざすものは、これからの青少年・中高年のスポーツを考えたとき、大いなる先駆けであると思ひ、あえて紹介させていただきました。



サッカー一部
根岸 強 (87期)
OB会の活動は第一に現役選手の支援を目的に活動しております。主な活動として1月2日の初蹴り会、2月中旬保護者会総会、2月下旬総会・新年会、8月第2土曜日に行われる高前交流戦であります。

初蹴り会では現役対翠巒クラブを行い、その後はOB同士の試合で毎年50人以上多い年には100人を超えるOBが集まりそれぞれにプレーを楽しんでおり活動の中心になっております。高前交流戦についても今年は早くも19回目の開催となりますがOB活動の恒例の行事となり多数の参加があり、現役選手や前高OBとの交流も盛んに行われ8月の大変暑い中、ライバル対決を楽しんでおります。しかし総会・新年会等の行事は毎年決まったメンバーの参加が目立ち、平成時代に卒業したメンバーの参加が少ないことが今後の課題であります。

翠巒クラブの活動は今年度より2部復帰を果たしここ数年の低迷期を乗り越え活気が出てきたことは喜ばしいことです。またシニアリーグにおいては前橋高校OBとの合同チーム (翠龍クラブ) にて群馬県シニアリーグ1部に参加しており、優勝を目指しております。また報告としては、今年度より高崎高校初のJリーガーである中町君がアビスパ福岡でJリーガーとして復帰しがんばっております、高崎高校のOBとしては喜ばしい限りであります。



硬式テニス部
濱名 和也 (84期)
テニス部員の皆様、こんにちは。高経附で硬式テニス部の顧問をしている濱名です。高高テニス部に追いつけ追い越せで生徒を鍛えているところです。

今年のOB総会は、8月14日 (土) の13:00より上並榎テニスコートをお借りしてテニス大会を開催する予定です。現役諸君も是非コートに足を運んでください。もちろん夜の部も開催いたします。詳しくは85期の北村君に任せていますのでそちらまで連絡してください。最後に高高テニス部の弥栄を祈念いたします。



卓球部
橋爪 洋介 (85期)
卓球部OB会です。5月の世界卓球選手権では、日本チームは男女ともに銅メダルに輝きました。かつての教育テレビ録画中継から、民放ゴールデンタイムに昇格いたしました (笑)。さて、本題にはいりますが、OB会では年2回の現役生との交流試合、ゴルフコンペ、新年会などを主な事業としています。卒業以来、卓球から遠く離れている方も積極的に現役との交流試合等にご参加ください。「いや～俺、もう暫く卓球やってないし～」という諸兄もご安心ください! きっと、良い汗かけますよ! 毎年、本会報とともに年間行事予定もご送付いたしておりますので宜しくご確認ください。

《高崎高校運動部の活動報告》
先輩ががんばってます



應援部 高橋 弘樹

應援部は我々で59代を数え、半世紀以上に渡り不撓不屈の精神を受け継いで参りました。現在部員達は日々鍛錬を積み、應援部員の名に恥じぬよう生活しております。そして学校行事では生徒の中心に立ち、母校の勝利と栄光の為に勇往邁進しております。また應援部は創部以来、我が部の存在意義について常に問い続けて参りました。変移する時代の中でも、確固たる矜持も色褪せることなく抱きつつ、新鮮で優長なものは進んで取り入れる温故知新の心こそ、現在に至るまで先輩方が築いて来た伝統なのではないでしょうか。應援部はこの気風と誇りを後世に伝えるべく、精進を重ねる所存で御座います。今後とも、より一層の御指導、御鞭撻を賜れますよう御願ひ申し上げ、御挨拶とさせていただきます。伝統よ更に栄えあれ。



ラグビー部 櫻井 崇博

我々ラグビー部は、現在3年7名、2年12名、1年10名の計29名で日々練習に励んでいます。新人戦では8強止まり、更に試合内容も最悪という大きな悔いの残る結果でありました。その日より気持ちを切替え、まずは春にはその雪辱を果たすべく、そして花園予選では高々ラグビー部の名をもう一度全国に轟かせることを目標に、ラグビー部一丸となって努力しています。近年では県内ラグビー人口の減少等ありますが、歴史ある高々のラグビーの伝統を受け継ぎ、伝えていける様、部員各々がラグビーだけでなく、学習や生活態度等にも力を入れています。日々の御支援に心より感謝すると共に、御期待に應えべく頑張りますので、今後とも応援を宜しく願ひします。

硬式テニス部OB (84期)
山口正仁
オーダーメイドの生命保険をお届けしています!
ブルデンシャル生命保険株式会社 町田支社
TEL 042-710-2471 携帯090-9309-9492

硬式テニス部OB (83期)
長谷川酒店
焼酎・ワインetc.各種取り揃えております。
長谷川 泰三
高崎市栄町20-1 TEL 027-323-2505

硬式テニス部OB (91期)
原 寛
カネト水産 つりばり・虹鱈料理・手打ちそば
高崎市倉洲町川浦3900-156 TEL.027-378-3132
ホームページ <http://www8.wind.ne.jp/wakaba/>



バスケットボール部 新井 駿

私達バスケットボール部は、3年生15名、2年生9名に新たに1年生13名を加え、計37名で顧問の長竹先生、坂本先生のご指導の下、毎日の練習に励んでいます。チームとしての目標は、単に優勝することではなく、優勝するために日々の限られた時間を有効に使い、1回1回の短時間の練習に全身全霊をかけて練習に取り組むことが目標です。

これからの期間で少しでもチーム力を向上させるために、チームの目標を全員が常に意識し、また、挨拶や礼儀など人間として大切な事をこれからも学び、何事にも真剣に取り組むことで一人一人が自分自身を鍛えて頑張りたいと思いますので、応援よろしくをお願いします。



バレーボール部 菊地 新太

我々バレーボール部は、顧問の塚本先生、加邊先生のご指導の下、3年生9名、2年生11名、1年生7名で構成され、日々練習に励んでいます。大会では良いところまで行きながらなかなか優勝できず、春の高校バレー県予選決勝では先に王手をかけておきながら逆転負けを喫するという、本当に悔しい思いをしました。

これから行われる総体やインターハイ予選では、「粘りのバレー」を基本に、今度こそは優勝しようとチーム一丸となって臨むつもりです。顧問の先生方やOBの方々、そして保護者の皆さんに支えられ、伝統ある高々でバレーボールが出来ることを喜びに感じながらこれからも精進していくので、応援よろしくをお願いします。



卓球部 植原 啓太

私達卓球部は、現在3年生7名、2年生11名、1年生10名の計28名で日々練習に取り組んでいます。江原先生、内田先生のご指導の下、一人一人が自らの課題を意識し、限られた時間と台をうまく活用して自分を高めるとともに互いに高め合っています。練習内容を工夫することはもちろん、試合からも多くのことを学び、大会で一つでも上を狙えるように頑張ります。応援よろしくをお願いします。



剣道部 西岡 千洋

我々剣道部は、顧問の渡辺先生のご指導の下、3年生9名、2年生4名、1年生7名の計20名で日々稽古に取り組んでいます。

限られた練習時間の中で、どうやったら相手から一本を取れるのか、どうやったらより緻密な稽古ができるのか、ということを一一人一人が考え、切磋琢磨しています。そしてなにより、我々剣道部は、部員同士の絆がとて固いです。私は、これは剣道部が誇れる「強さ」だと思っています。この「強さ」を無駄にせず、また、「不撓不屈」の精神を抱き、群馬県代表を目指します。

顧問の先生方やOBの先輩方、保護者の方々をはじめとする、多くの方々への感謝の気持ちを忘れずに、これからも精進していきます。応援よろしくをお願いします。



硬式野球部 久米 直人

我々硬式野球部は、境原先生、島田先生、伊藤先生のご指導のもと、日々全力で練習に取り組んでいます。強豪校に比べて、練習時間や設備は劣りますが、そこをプラスに考えて工夫し、よりよい練習を追求し、考える野球を実践しようとしています。また自分達は人間性にこだわっています。そのため普段の生活こそが一番の練習と考えています。

自分達は今まで本当に厳しい練習に耐えてきたので、自分自身に対して自信があります。自分達を熱心に指導して下さる先生方、いつも支えてくれる家族など様々な人に感謝して、一つずつ確実に勝ち進み、甲子園出場を成し遂げようと思います。



サッカー部 柴田 剛志

私達サッカー部は、現在3年生27名、2年生27名の計54名で構成され、日々練習に励んでいます。昨年度は、目標であった群馬県優勝を果たすことができませんでした。そこで今年度は、強豪校よりも短くなってしまふ練習時間を工夫し、充実したものにして群馬県優勝、さらにその先へと目標を高く持ち、チーム一丸となって全力で取り組んでいきたいと思っています。

また、サッカーをする以前の当たり前のこととして挨拶や礼儀をしっかりと、社会に出たときにきちんとした態度を取れるような人間形成も行っています。全力で頑張っていきますのでこれからも応援よろしくをお願いします。



陸上競技部 真鍋 圭輔

私達陸上競技部は、顧問の田島先生、茂原先生、津久井先生のご指導の下、3年生18名、2年生24名、1年生16名の計58名で日々の練習に励んでいます。「最小の努力で最大の効果を」をモットーに、限られた時間の中で、どのような効率的な練習ができるのかを、一人一人が自分で考えながら、自分の目標に向かって努力を重ねています。各々の目標は違えど、試合では自分、そして仲間の力を信じて、努力の成果を十分に発揮し、一人でも多く、一つでも上の大会へ駒を進めるよう、部一丸となって頑張っていきますので、御声援の呈宜しくをお願いします。



柔道部 下平 滉成

我々柔道部は、3年生4名、2年生6名、1年生2名の計12名で日々練習に励んでいます。毎日の練習を効率良く、そして常に自分には何が必要なのかを考え、顧問である鳥居先生のご指導の下で充実した練習をしてきました。柔道は、心技体を必要とし、我々も、体力や技術だけでなく、精神もしっかりと培ってきました。

これから訪れる総体やインターハイ予選では、自分の力を十分に発揮し、関東出場やインターハイ出場を果たし高々の名を全国に轟かせたいと思います。これからも、日々精進して良い結果を報告できるように頑張りたいと思いますので、応援よろしくをお願いします。

「Brand New Start ~新たな前進~」
優勝目指せ!!
 高崎高校サッカー部OB会 会長 清野 哲雄(74期)

**硬式テニス部**

柴山 正輝

現在硬式テニス部は、3年生18名、2年生20名、1年生19名、計57名で活動しています。顧問の中村先生、岡田先生に加え今年は新たに中川先生を迎え、新体制のもと日々練習に励んでいます。新人戦ではシングルス、ダブルス共にベスト4、団体ベスト8と去年の成績を上回ることができましたが、目標とする関東大会出場を果たすことはできませんでした。しかし、その悔しさが個々の意識を高め、練習をより一層意義あるものにしました。

今年の総体では、日頃の練習の成果を十分に発揮し、関東出場を果たせるようチーム一丸となって闘うので、応援よろしくお願ひします。

**ソフトテニス部**

高橋 佑弥

我々ソフトテニス部は、3年生9名、2年生13名、1年生14名の計36名で活動しています。顧問の井坂先生の指導の下、全国優勝を目標に日々練習に励んでいます。限られた時間の中、36人が効率よく練習するために一人一人が勝つための意識をしっかりと持ちながら練習を工夫していくのはもちろん、社会に出て活躍できる人間になることを目標に人間性を磨いています。コートの中以外でも、「勝つ集団」としてのふさわしい行動を心掛けています。間近に迫っている総体、インターハイ予選に向けて、今まで以上に部員全員が一丸となり、まずは県の代表、そして関東、全国に大きく羽ばたきたいと思ひます。応援よろしくお願ひします。

**山岳部**

岡田 陽介

私達山岳部は、現在3年生5名、2年生6名、1年生9名の計20名で日々練習に励んでいます。平日は観音山のマラソンコースを走ったり、ロッククライミングを行ったり、設営の訓練をします。土日には、県内の山を中心に、月1回のペースで登山に行っています。総計すると1年で約30日間は山にこもっています。普段はとても楽しんで登山を行っていますが、もちろん総体の練習も怠ってはいません。読図や天気図作成、パッキングの練習も随時行っています。昨年度の総体では、惜しくもインターハイ出場を逃してしまったので今年度こそは優勝を目指し、部員一同協力して練習に取り組んでいきたいです。応援よろしくお願ひします。

**弓道部**

高橋 孝幸

我々、弓道部は3年生4名、2年生9名、1年生15名で日々修練を積んでいます。一昨日に完成した道場での練習にも慣れ、新たな部の伝統が徐々に築かれ始めたように思われます。また、一人一人が目標への達成しようという気持ちも非常に高いものとなりました。これからの課題として、移り変わる日々の中で統一された部の雰囲気をつくることです。そういったことの積み重ねが関東大会、全国大会へとつながっていくのだと思ひます。しかし、やはり十分な練習が必要なのは当然なので、怠ることなく毎日全力を尽くす所存です。更なる部の発展に向けて部員一同、最善をつくすので、是非応援よろしくお願ひします。

**水泳部**

柳 義裕

現在、水泳部は3年生2人、2年生5人、1年生2人の計9人で活動しています。部員のほとんどがスイミングスクールに通っており、部員全員で活動ということはありませんが、全員が夏の大会に向け、各々しっかりと頑張っています。少数ながらも、スイミングスクールに通っていない部員もいますが、「学校にプールがある」という長所を生かし、部員全員が自己ベストをしっかりと更新できるようにしたいと思ひます。去年はリレー、個人共に関東大会まで出場することができました。今年は関東で留まることなく、インターハイの出場を目標に頑張りたいと思ひますので、応援よろしくお願ひします。

**バドミントン部**

熊王 峻祐

現在、バドミントン部は、3年9人、2年14人の計23人で活動しています。新たに小野先生を迎え、日々技術の向上を目指し練習に励んでいます。バドミントン部は、創部からまだ歴史が浅いですが、県大会で団体戦ではベスト4、個人戦ではベスト8を目標にし、練習に取り組んでいます。部員数に対して練習場所は少なく、制限されている部分が多いですが、工夫を重ね、短時間で効率的な練習を心掛けることで、それらをハンデとせず、今後高々バドミントン部が大きく躍進をすることが出来るように残りの期間を悔いの残らないよう精一杯頑張りたいと思ひます。

**空手道部**

田中 郁也

我々空手道部は、3年生3名、2年生1名、1年生3名の計7名で日々練習に励んでいます。昨年度の県高校総体、インターハイ予選、秋の新人戦では団体戦、個人戦共にベスト8まで進出しました。空手道部は顧問の先生が空手経験者でなく、練習場所も狭く、決して恵まれた環境ではありませんが、部員が互いに教え合い、効率的な練習を集中して取り組んでいて、部全体の士気も高まっています。今年度の高校総体では目標であるベスト4以上を目指し、関東大会出場を果たしたいと思ひますので、応援をよろしくお願ひします。そして、今後も空手道部が大きな躍進を遂げられるように精一杯頑張ります。

**軟式野球部**

島崎 大樹

私達軟式野球部は、3年生12人、2年生9人、1年生11人の計32人で活動しています。最大の目標として野球そのものを楽しむことを掲げ、野球に対して真剣に取り組んでいます。また、練習時間が限られているなかで、どこまで充実した練習ができるかを意識して取り組んでいます。そうしたなかで迎えた昨秋の新人戦では関東大会出場を果たすことができました。次の3年生最後の大会となる高校総体では、新人戦での経験と自信を活かし、いつも通りの自分達の野球ができるようにしたいです。それができれば県大会秋春連覇、関東大会で結果を残すことができると思ひます。これからも悔いの残らないように精進していきたいと思ひますので、応援よろしくお願ひします。

**目指せ！
極限の自己を！！**

高崎高校 陸上部 OB会 会長 谷 一行(70期)

陸上部OB会ホームページ開設しました。

<http://sports.geocities.jp/takatakarikujouob/index.html>

平成21年度 運動部活動状況

卓球部

高崎市市長杯卓球大会 高校生の部
清水一輝 準優勝
インターハイ県予選
1回戦 3-0 利根実
2回戦 1-3 前商
県強化大会 男子ダブルス
清水一輝・高野遼組 ベスト16
新人大会
団体 1回戦 3-0 吉井
2回戦 3-0 育英
3回戦 1-3 利根商 ベスト16
個人 清水一輝・高野遼組 ベスト16

バレーボール部

インターハイ県予選
4回戦 2-0 前工
準々決 2-0 伊商
準決勝 0-2 桐商 3位
西毛地区大会
2回戦 2-0 藤岡中央
準決勝 2-0 高工
決勝 2-0 明和県央 優勝
新人大会
2回戦 2-0 板倉
3回戦 2-0 育英
準々決 2-0 太田
準決勝 1-2 伊勢崎 3位
全国選抜県予選
3回戦 2-0 前橋
準々決 2-0 高工
準決勝 2-0 桐商
決勝 2-3 明和県央 2位

ソフトテニス部

関東大会
個人 有坂・高橋組 3回戦
インターハイ県予選
個人 斉藤・関口組 9位
団体 2回戦 3-0 安中総合
3回戦 0-2 伊市高
新人大会
個人 蛭間・池田組 3回戦
団体 2回戦 2-1 吉井
3回戦 2-0 前商
4回戦 2-0 高商
準決勝 2-1 前橋
決勝 2-1 農二 優勝
全国選抜県予選
団体 2回戦 3-0 関学
3回戦 2-0 館林
4回戦 2-1 渋川
決勝リーグ 0-3 農二
2-1 沼田
2-1 前橋 2位
(関東大会へ)
関東選抜大会
団体 1回戦 0-3 武蔵越生
ハイスクールジャパンカップ県予選

乾・伊藤組 3位

柔道部

関東大会 個人出場
インターハイ県予選
団体 ベスト8
個人 90kg級 井上登志晴 2位
県新人大会
団体 2回戦 4-0 沼田
準々決 4-1 常磐
準決勝 0-4 前商 ベスト4
全国高校選手権大会県予選
団体 ベスト4
県学年別大会
個人 二年の部 渡辺正樹 3位
一年の部 角田裕祐 100kg級 優勝

サッカー部

インターハイ県予選
4回戦 1-3 桐生 ベスト16
高校選手権 決勝トーナメント
1回戦 5-0 太商
2回戦 0-2 館林 ベスト8
県新人戦
1回戦 4-0 農二
2回戦 4-0 関学
3回戦 2-0 共愛
準々決 0-2 育英 ベスト8

水泳部

関東高校県予選
100m 自 柳義裕 5位◎
50m 自 柳義裕 5位◎
400m R 高橋・下田・柳・関口 7位◎
(◎印は関東大会出場)
県総体 男子総合7位
400m 自 柳義裕 3位
100m バ 柳義裕 4位
400m R 柳・下田・高橋・関口 6位
800m R 柳・下田・関口・高橋 5位
400m メ R 山崎・下田・高橋・関口 6位
新人大会
50m 自 関口智仁 3位
100m 自 関口智仁 5位
50m 背 山崎雄哉 4位
200m 背 山崎雄哉 5位
50m 平 下田昌範 2位
" 折間悠 5位
100m 平 下田昌範 3位
" 折間悠 4位
200m R 関口・折間・下田・山崎 2位
200m メ R 若山・下田・折間・関口 2位

ラグビー部

一年生大会
1回戦 0-31 高商
高校選手権大会
予選リーグ 20-19 前橋
33-10 桐一
決勝トーナメント
1回戦 22-5 前橋
準々決 0-70 農二 ベスト8

新人大会

2回戦 71-7 桐工
準々決 0-135 明和県央
ベスト8

7人制大会

2回戦 22-0 桐生
準々決 48-0 安中総合
準決勝 12-26 太田 ベスト4

剣道部

全国高校総体県予選
2回戦 1-2 清明
学校対抗選手権
2回戦 4-1 藤北
3回戦 2-0 高工
4回戦 3-2 明和県央
準決勝 1-4 前橋 3位
新人戦
2回戦 4-0 桐工
3回戦 5-0 中之条
4回戦 1-2 高北 ベスト8

テニス部

新人大会
団体 2回戦 4-1 新島
3回戦 3-1 前西
準々決 2-3 育英 ベスト8
個人 シングルス 角田峻太郎 3位
ダブルス 角田・金井組 3位

硬式野球部

第91回 全国高等学校野球選手権 群馬大会
2回戦 11-3 下仁田 (7回)
3回戦 5-2 高専
4回戦 0-3 太田
秋季関東大会 県予選
2回戦 0-1 富実
春季関東大会 県予選
2回戦 3-4 富岡

空手道部

インターハイ県予選 総合5位
個人形 小池樹 5位
個人組手 田中郁也 5位
団体形 5位
団体組手 5位
1・2年生大会
個人組手 田中郁也 5位
新人大会
個人組手 田中郁也 5位
団体形 5位
団体組手 5位

バドミントン部

インターハイ県予選
1回戦 2-0 板倉
2回戦 0-2 清明
県高校生大会
シングルス 松田 2位
新人戦
個人 シングルス 小山 ベスト32
熊王 ベスト16

がんばれ 高崎高校柔道部

目指せ日本一 祝H22関東大会(東京大会) 団体出場
柔道部OB会 会長 関口茂樹(63期)

ダブルス 熊王・須藤組 ベスト16
 団体 1回戦 2-1 高工
 2回戦 0-2 桐商

弓道部

西毛地区大会
 個人 佐藤威弘 2位
 高崎市民大会
 個人 細矢 芽 3位
 佐藤威弘 6位
 井上滉己 7位
 明治神宮全国遠の大会 高校生の部
 個人 井上滉己 9位

軟式野球部

全国高等学校軟式野球選手権大会 県予選
 1回戦 12-2 桐工(5回)
 準々決 1-2 前商(延長12回)
 ベスト8
 秋季関東高等学校軟式野球大会 県予選
 1回戦 2-0 育英
 準々決 5-2 前橋
 準決勝 1-0 高商
 決勝 1-0 前商 優勝
 第50回秋季関東高等学校軟式野球大会(船橋市)
 2回戦 7x-6 八千代松陰(千葉)
 準決勝 0-5 作新学院(栃木) 3位

陸上競技部

関東高校大会(宇都宮)
 800m 古市真也 予組3位
 5000m 関口頌悟 決10位
 110mH 久留飛遊寿 準組5位
 3000mSC 根岸侑希 予組11位
 5000mW 大小原俊 決7位
 やり投 金子寛 決8位
 4x100mR 瀬下、久留飛、馬場、田代 予組7位
 4x400mR 馬場、田代、長壁、古市 予組5位
 群馬県選手権大会
 800m 古市真也 決6位
 1500m 関口頌悟 決4位
 5000m 関口頌悟 決1位
 110mH 久留飛遊寿 決4位
 3000mSC 根岸侑希 決9位
 5000mW 大小原俊 決5位
 4x100mR 瀬下、久留飛、馬場、田代 決6位
 4x400mR 馬場、田代、長壁、古市 決5位
 (上記延べ8種目で関東選手権大会出場)
 県高校新人大会
 800m 古市真也 決1位
 " 一木悠太 決4位
 1500m 関口頌悟 決1位
 " 古市真也 決2位
 5000m 関口頌悟 決1位
 3000mSC 金井美海 決3位
 5000mW 須田貴士 決3位
 4x400mR 真鍋、田代、長壁、古市 決1位
 (上記選手が関東選抜新人陸上選手権大会出場)
 県高校駅伝 総合成績5位
 (10年連続関東高校駅伝出場権獲得)
 関東高校駅伝(山梨) 総合成績39位
 新人駅伝競走大会 総合成績3位

バスケットボール部

全国高等学校選抜優勝大会群馬県予選会
 2回戦 56-62 新島
 西毛地区新人大会
 2回戦 120-50 高工
 3回戦 92-59 農二
 準決勝 109-69 新島
 決勝 69-102 高商 2位
 新人大会兼関東新人大会群馬県予選
 2回戦 20-0 高工
 3回戦 88-44 高北
 4回戦 88-106 育英 ベスト16

山岳部

新人戦 個人 岩崎一輝 2位
 山田昇杯 個人 岡田陽介 2位

第45回高校総体
 成績一覧(平成22年)
 総合順位 2位

陸上競技部

200m 齋藤郁磨 決5位
 800m 古市真也 決3位
 1500m 関口頌悟 決2位
 5000m 関口頌悟 決3位
 110mH 市川響太郎 決2位
 5000mW 須田貴士 決1位
 " 佐藤誠一郎 決6位
 4x100mR 高橋、東間、齋藤、田代 決5位
 4x400mR 真鍋、長壁、古市、田代 決4位
 走高跳 大澤佑太 決3位
 砲丸投 櫻井泰人 決6位
 円盤投 櫻井泰人 決4位
 やり投 原義明 決3位
 八種競技 関口俊介 決4位
 総合3位

バスケットボール部

1回戦 90-35 勢多農
 2回戦 78-46 商大附
 3回戦 101-75 新島
 準々決 50-92 太東 ベスト8

バレーボール部

3回戦 2-0 育英
 準々決 2-0 伊商
 準決勝 2-0 前商
 決勝 1-2 伊勢崎 2位

柔道部

団体 1回戦 3-1 富岡
 2回戦 3-0 興陽
 準々決 3-0 常磐
 準決勝 1-3 前商 ベスト4
 (関東大会へ)

ソフトテニス部

団体 2回戦 3-0 尾瀬
 3回戦 2-0 桐生
 4回戦 2-1 太工
 決勝リーグ 3-0 高商
 3-0 前橋
 2-1 沼田
 (28年ぶり)優勝
 (関東大会へ)
 個人 深堀・黛組、蛭間・池田組 9位
 新島・有川組、奈良・中島組
 (関東大会へ)

山岳部

3位(関東大会へ)

サッカー部

1回戦 4-0 桐南
 2回戦 0-0 高商
 5PK6 ベスト32

ラグビー部

1回戦 29-0 興陽
 準々決 7-90 明和県央 ベスト8

剣道部

2回戦 1-1 桐生(本数勝)
 3回戦 5-0 館林
 準々決 0-4 育英 ベスト8

テニス部

団体 2回戦 3-0 桐工
 3回戦 2-1 館商工
 準々決 0-2 太田 ベスト8

空手道部

個人形 湊谷隼人 ベスト16
 団体形 3回戦(0-7高経附) 5位
 団体組手 3回戦(2-3前工) 5位

バドミントン部

個人 ダブルス 熊王・須藤組 ベスト16
 団体 1回戦 2-0 高経附
 2回戦 2-0 榛名
 3回戦 1-2 渋川

軟式野球部

準々決 1-0 館林
 準決勝 9-1 前工(7回コールド)
 決勝 5-1 育英
 (16年ぶり2回目)優勝
 (第58回春季関東高等学校軟式野球大会に出場)

卓球部

団体 1回戦 3-0 板倉
 2回戦 3-0 商大附
 3回戦 0-3 沼田 ベスト16

弓道部

団体 ベスト16



翠巒体育会役員名簿

(平成 22. 6. 23)

役職	氏名	期	運動部名	電話
会長	高橋浩生	78	バレーボール	
副会長	藤木正行	69	剣道	
〃	志田登	82	柔道	
〃	谷一行	70	陸上	
〃	内田美樹	77	ラグビー	
〃	田口恵一	74	ソフトテニス	
〃	秋山賢治	74	応援	
〃	清野哲雄	74	サッカー	
〃	清水正一郎	75	野球	
〃	北村真行	85	硬式テニス	
〃	松本基志	77	山岳	
〃(情報部長)	堤康良	71	卓球	
〃(編集局長)	橋爪良真	75	バスケット	
〃(会計)	永尾俊弘	70	水泳	
監査	吉井章一	78	山岳	
〃	川手義昭	62	野球	
〃	後藤次一	68	陸上	
〃	阿久澤茂	69	サッカー	
顧問	國峯善次郎	50	サッカー	
〃	岩田武雄	53	バスケット	
〃	山口正敏	58	卓球	
事務局 局長	鳥居吉二	73	柔道	
事務局(理事)	岩丸高明	82	バレーボール	
〃(理事)	富田和弘	85	応援	
事務局 理事	茂原賢三	89	陸上	
〃	坂本弘	87	バレーボール	
〃	長谷川裕二	93	〃	
〃	小池政一	77	剣道	
〃	浦野孝	77	〃	
〃	滝野修司	86	〃	
〃	関口茂樹	63	柔道	
〃	庭田登志夫	68	〃	
〃	寺沢保夫	83	〃	
〃	坂本正樹	71	陸上	
〃	木村隆一	74	〃	
〃	福島早人	77	ラグビー	
〃	飯島雅年	78	〃	
〃	黒石康暢	81	〃	
〃	伊藤祐司	75	水泳	
〃	斎藤全賢	75	〃	
〃	須藤聡	78	〃	
〃	深沢昇	57	卓球	
〃	角倉信久	69	〃	
〃	橋爪洋介	85	〃	
〃	木村芳之	72	ソフトテニス	
〃	石田和久	75	〃	
〃	浦野克彦	78	〃	
〃	鈴木伸生	80	応援	
〃	國峯賢一	74	サッカー	
〃	安藤英彦	86	〃	
〃	根岸強均	87	〃	
〃	小林正喜	77	野球	
〃	赤沢威	84	〃	
〃	清水一好	85	〃	
〃	榊原正宏	79	バスケット	
〃	田中弘之	79	〃	
〃	佐藤英敏	81	〃	
〃	斎藤英敏	83	硬式テニス	
〃	長谷川泰三	83	〃	
〃	松本潔	84	〃	
〃	吉田茂司	77	山岳	
〃	吉井章一	78	〃	
編集委員	内田祐二	87	バレーボール	
〃	小池政一	77	剣道	
〃	鳥居吉二	73	柔道	
〃	波多野重雄	77	陸上	
〃	川崎洋一	79	ラグビー	
〃	伊藤祐司	75	水泳	
〃	堤康高	71	卓球	

役職	氏名	期	運動部名	電話
編集委員	木村晴彦	87	ソフトテニス	
〃	藤井正弘	81	応援	
〃	根岸強	87	サッカー	
〃	吉井剛	80	野球	
〃	塚本浩史	99	バスケット	
〃	浜名和也	84	硬式テニス	
〃	吉井章一	78	山岳	

学校側顧問				
校長	副校長	運動部長	藤倉新一	金井尚之
			武藤正美	境原尚樹
バレーボール	剣道	柔道	陸上	ラグビー
水卓	ソフトテニス	応援	サッカー	野球
バスケット	硬式テニス	山岳	スキー・スケート	弓道
空手	軟式野球	バドミントン		
塚本泰弘	渡辺正一	鳥居吉二	田島正徳	西沢南
加邊一芳	斉藤利男	木村高己	茂原賢三	新井功
津久井俊明	川崎洋一	坂爪誠	坂本直之	岡田準
中川浩之	伊藤信一	池永真孝	新井初代	篠原浩一
小野智信				

OB会長名簿

運動部名	氏名	期	電話
バレーボール	菊地俊二	52	
剣道	藤木正行	69	
柔道	関口茂樹	63	
陸上	谷一行	70	
ラグビー	内田美樹	77	
水泳	永尾俊弘	70	
卓球	橋爪洋介	85	
ソフトテニス	丸山博	68	
応援	秋山賢治	74	
サッカー	清野哲雄	74	
野球	川手義昭	62	
バスケット	榊原一好	79	
硬式テニス	小池俊明	80	
山岳	清水正爾	55	

第29号翠巒体育会会報 第2回編集会議(平成22年6月4日・高崎ビューホテル)



【志田・柔道・82期】 今回の特別寄稿において特集がされておりますが、複数の翠巒クラブが活動していることを編集会議の際に知りました。私自身は、柔道着を着なくなってから、もう25年が経ってしまい、再び柔道をするのではないと思っていたため、さほど各翠巒クラブの活動に対して思うこともなかったのですが、その後、野球部の翠巒クラブに参加している同級生に偶然会い、その同級生の翠巒クラブの話をした際のうれしそうな表情を見たときは、少々羨ましい気持ちになりました。スポーツの種類によっては、活動をする場所や目標とする大会の有無により、翠巒クラブのような活動を行うことは困難な場合もあるかと思いますが、同じ高々を卒業した仲間と、スポーツの種類に拘らずに、共に活動することは、とても有意義なものになるはず。この翠巒体育会を含めて、OB会の活動にはできる限り参加していきたいと改めて思う出来事となりました。